

報道関係各位

株式会社阪急阪神百貨店
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

阪急阪神百貨店×岡山県真庭市×シュクレイ 共同企画 「『GREENable』ブランド 新商品開発プロジェクト」 8 月 5 日から始動

株式会社阪急阪神百貨店（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山口俊比古、以下「阪急阪神百貨店」）は、岡山県真庭市（市長：太田昇、以下「真庭市」）、「ザ・メープルマニア」などのスイーツブランドを展開する株式会社シュクレイ（本社：東京都港区、代表取締役社長：阪本良一、以下「シュクレイ社」）と共同で、地域資源の新たな価値創造と持続可能な地域循環を目指す新たな取り組み、「『GREENable（グリーンナブル）』ブランド 新商品開発プロジェクト」を 2026 年 8 月 5 日からスタートいたします。

本プロジェクトは、真庭市と阪急阪神百貨店の連携により生まれたコミュニティブランド「GREENable」の理念に基づき、地域、メーカー、そして小売りがタッグを組み、互いの強みを生かしながら共創し、魅力ある新商品を開発していくものです。真庭市の豊かな自然が紡いだ地域資源に、シュクレイ社が持つ高い商品企画力、さらに阪急阪神百貨店によるマーケットへの発信力を掛け合わせることで、自然環境の保全と経済性を両立する CSV（共通価値の創造）の実現を目指してまいります。

◎ プロジェクト概要

真庭の豊かな自然環境を次世代へつなぐため、「おいしい×自然共生」による新しい循環を生み出す商品開発を推進します。



【自然共生の仕組み】

本プロジェクトは「GREENable」ブランドのライセンス契約に基づき運用します。本プロジェクトにより誕生した商品売上高の一部が真庭市の自然環境保全活動へ寄付されます。生活者の購買行動が直接的に自然環境の保全につながると考えています。

【プロセス共有型の開発】

シュクレイ社が展開する複数ブランドで、真庭の食材を使用した試作商品を開発。顧客参加型の試食審査会を開催し、その結果により商品化を決定するとともに、開発プロセスの情報発信も行う予定です。

◎ 3 者の役割

岡山県真庭市：

地域資源の情報提供、原材料の供給サポート、および GREENable ブランドコンテンツ創造事業を通じた商品開発のサポート

株式会社シュクレイ：

数多くの人気スイーツブランドを生み出してきた商品開発力を生かし、素材の魅力を引き出すプレミアムな菓子の企画・製造・販売

株式会社阪急阪神百貨店：

プロジェクトの価値発信、および阪急うめだ本店での先行販売イベント（POP UP）を通じて販売機会の提供

◎ スケジュール

2026 年 8 月 5 日：プロジェクト始動 共同記者発表会

時間：午前 10 時～11 時

場所：GREENable HIRUZEN（岡山県真庭市蒜山上福田 1205-220）

2026 年 10 月頃：顧客参加型試食審査会

場所：阪急うめだ本店 8 階 GREEN AGE コミュニティパーク

※試作商品、パッケージのラフデザインによる審査

2027 年 3 月下旬：新商品先行販売会（POP UP イベントの開催）

場所：阪急うめだ本店 地下 1 階 ツリーテラス（大阪市北区角田町 8 番 7 号）

※日時や場所は全て現時点での予定となります。

<株式会社シュクレイ>



設 立：2011 年 12 月 15 日

本社所在地：東京都港区北青山 1-2-7

株式会社シュクレイは、「喜びを創り喜びを提供する」を理念に掲げる、お菓子の総合プロデューサーです。既成概念やジャンルにとらわれない新しいコンセプトのお菓子を企画・開発・販売し、「東京ミルクチーズ工場」や「ザ・メープルマニア」「バター

バトラー」など、多彩なオリジナルブランドを展開。お菓子を通じて新たな価値を創造し、多くのお客さまへ心躍るスイーツ体験を提供しています。

企業ホームページ URL <https://www.sucrey.co.jp/>

<この件に関する報道関係者お問い合わせ先>

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181

ご参考

◆ GREENable(グリーンナブル)

2020 年から取り組む、真庭市と阪急阪神百貨店の連携によって生まれた、商品、サービス、体験を通じて「人と自然が共生する持続可能なライフスタイル」を提案するコミュニティブランドです。

大山隠岐国立公園（蒜山高原）にある、建築家・隈研吾氏が設計した CLT（直交集成板）を用いたパビリオン「風の葉」をシンボルとした施設「GREENable HIRUZEN（グリーンナブルヒルゼン）」を拠点に、現代的な感性で地域資源に新たな価値を付与することで、都市と農山漁村が理念を共有し、相互に補完し合う関係性の再構築を目指しています。

なお、この取り組みにより、阪急阪神百貨店は 2022 年 3 月に、百貨店業界としては初めてとなる環境省との「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しています。



©川澄・小林研二写真事務所